教員名	牛江　ゆき子　(USHIE Yukiko)
所　属	語学センター
学　位	文学修士（1982　東京大学）
職　名	教授
URL／E-mail	ushie@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

指示表現　／　総称的代名詞　／　メンタルスペース　／　英語教育　／　自律型学習

◆主要業績　　総数（3）件

・「談話における非人称的用法の you の解釈について―メンタル・スペースの視点から―」『言語研究の宇宙：長谷川欣佑先生古稀記念論文集』pp. 402-411. 開拓社　2005 年 9 月　単著
・「英語 CALL 教材を利用した自習における支援方法の比較」　『お茶の水女子大学人文科学研究』第 2 巻、松藤薫子・絹谷弘子・エドワード・シェイファー・牛江ゆき子の共著 pp. 217-228. 2006 年 3 月
・「CALL 教材を利用した自習のメールによる支援効果」外国語教育メディア学会（LET） 第 45 回（2005 年度）全国研究大会　実践報告　（松藤　薫子・絹谷　弘子・エドワード　シェイファー・ナガトモ　ダイアン・牛江　ゆき子による共同発表）2005 年 7 月 30 日　東京国際大学

◆研究内容

１．指示表現は、指示対象を特定するという機能のほかに、テクスト内で、話し手と聞き手・指示対象の関係をあらわすなどの表出的機能を担っている。英語のテクスト内で表出的機能を担って用いられる指示表現について研究している。2005 年度は、総称的代名詞 you がテクスト内で表出的機能を担って、あいまいに用いられる場合の解釈について、メンタルスペースという概念を用いて説明を試みた。
２．大学での英語学習においては、授業時間は限られているので、授業外の学習（自習）が不可欠である。自習をどのように支援したら、自習を促進し、効果をあげることができるかを、学内で共同研究している。2005 年度の研究では、授業を通しての支援方法について研究を行った。その結果、教員が教材や学習方法、支援方法を決める教員主導の管理的な支援よりも、学生の自主性・自律性を高めた支援が有効であることが明らかとなった。

◆教育内容

本学のコア英語では、英語で知的にコミュニケーションが取れる国際人の育成をめざしている。そのために、コア英語においては、英語における文章の構造や論理の展開の仕方を理解することと、論理的な思考力を身につけることを重視している。このような目標到達のために、授業では、英語の文章を読んだりレクチャーを聞いたりして、論点は何か、それはどのようにサポートされているかを把握できるように訓練を行っている。また、授業時間は限られているため、課題として、読書レポートや、トランスクリプション（書き取り）、自分でリスニング等の課題を選んで学習する選択課題を課し、英語力を高められるようにしている。

◆Reseach Pursuits

1. interpretation of impersonal you in discourse from the viewpoint of mental space
2. comparison of different methods of support for English self-learning

◆Educational Pursuits

classes taught in the academic year 2005-2006: Basic English I, Basic English II, English Grammar, Advanced Seminar：Analysis of Linguistic Data II, English Teaching Methodology II

◆将来の研究計画・研究の展望

語学学習において学習者が高い到達目標に達するためには、授業のほかに、学習者が、自分のレベルや目標・興味・関心・生活パターンにあう学習法を見つけ出し、学習を長期間にわたって継続することが必要である。個々の学習者のニーズや状況を考慮した学習計画の提示、学習者が通学時間や自宅で学習支援メディアと教材を駆使できる環境の構築、学習者が自律的学習のために必要な支援を簡単に得られるような体制づくりなど、自律型語学学習環境の構築に向けて学内で共同研究を進めたい。

◆受験生等へのメッセージ

今、英語は「文法は間違っていても、通じればよい」という考え方が主流になりつつあり、文法が軽視されがちです。しかし、文法がしっかりと身についていないと、あるレベル以上のものを理解したり、発信したりすることができるようになりません。さらに、コミュニケーションには、論理的な思考力も不可欠です。

外国語の文法を習得するためには、文法の概念を理解するほか、たくさん読んだり、聞いたり、音読をしたり、地道な努力が必要です。論理的な思考力も簡単に身につくものではありません。

見かけばかりの流暢さを追うのではなく、地道な努力をして、たとえつたなくとも、本当に実のあるコミュニケーションができるようにしましょう。